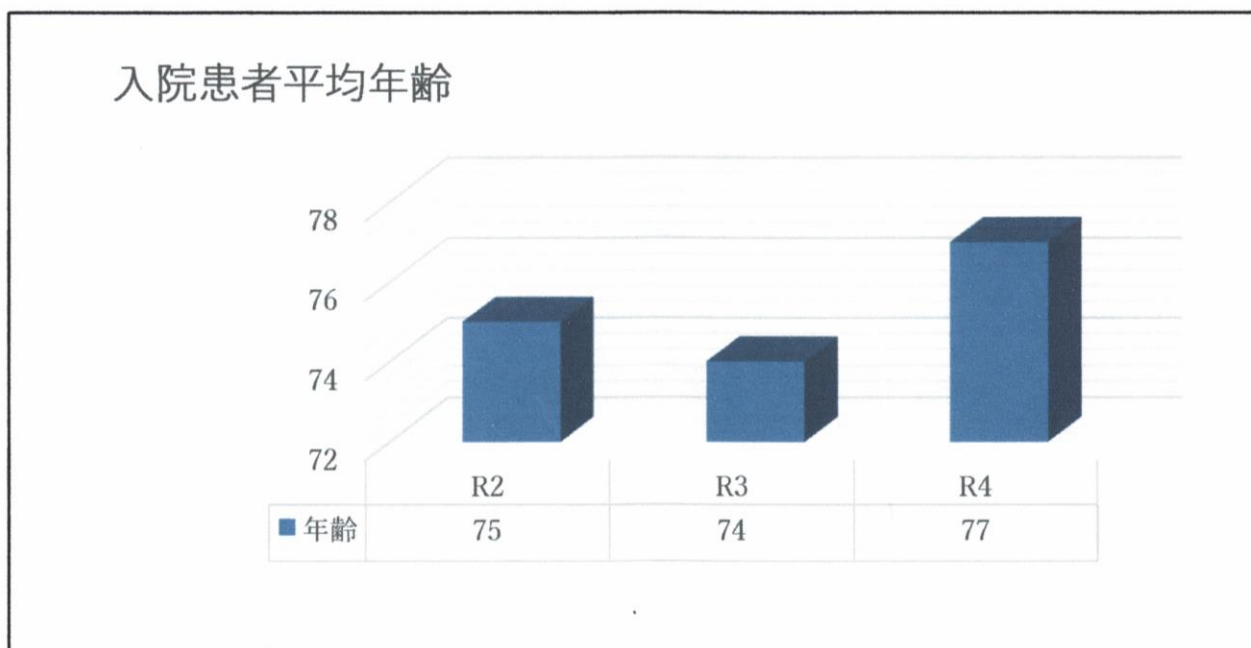
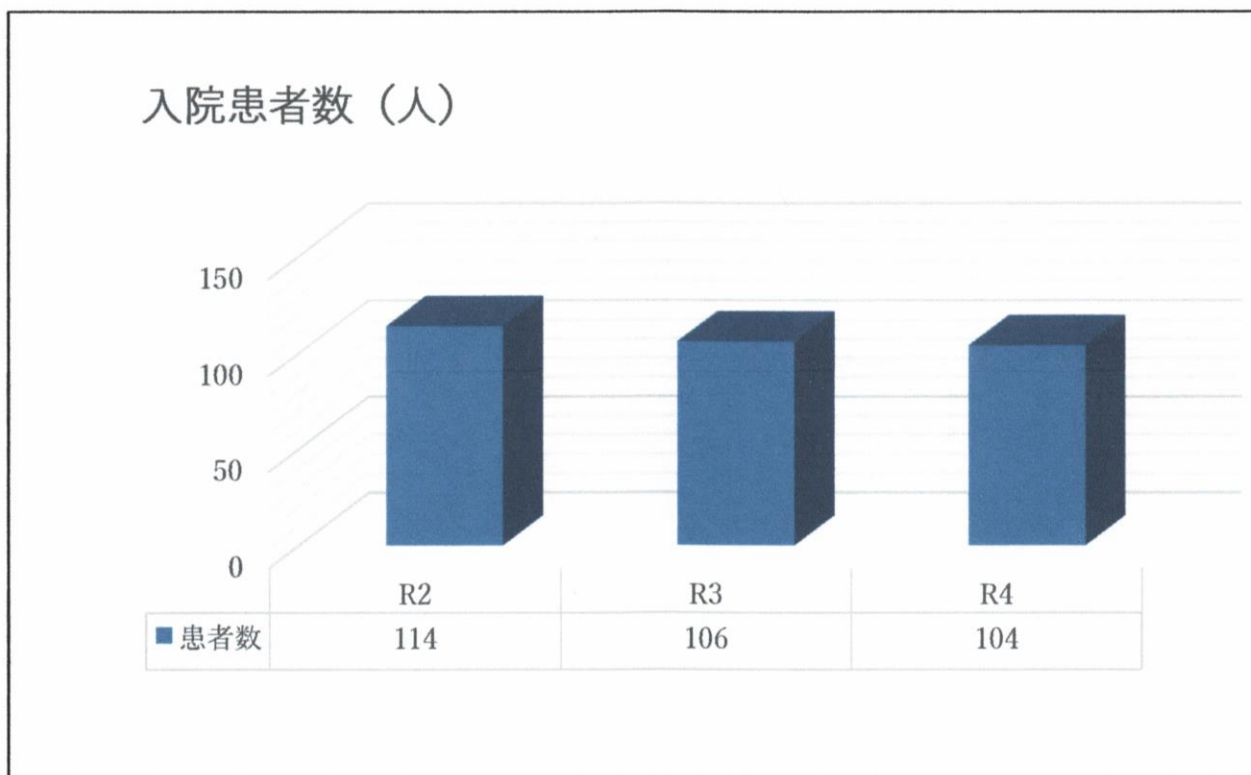
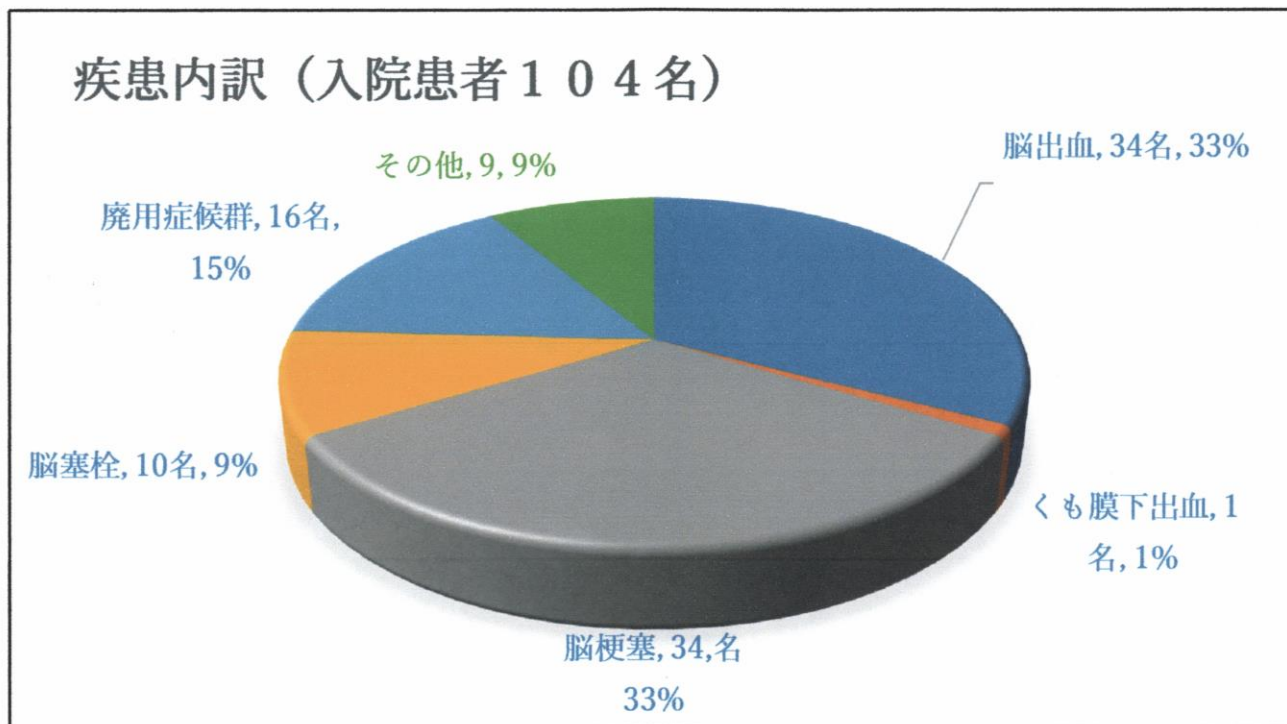


2022年度 回復期リハビリテーション病棟実績

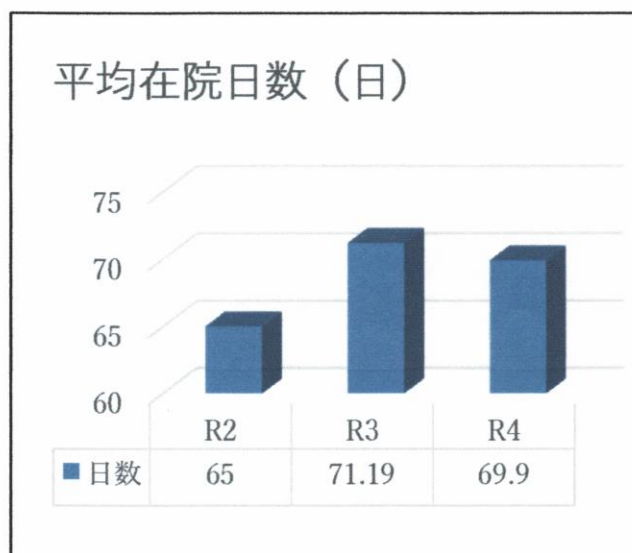
① 入院患者数と平均年齢



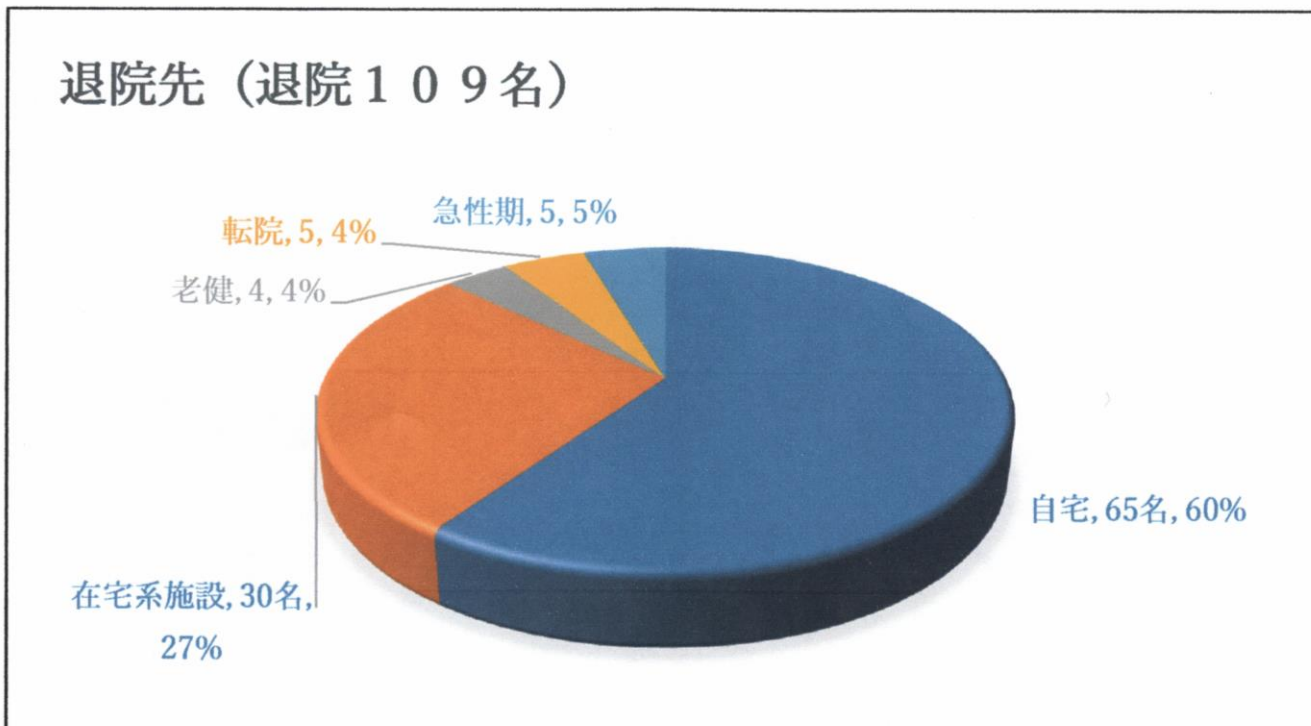
② 疾患内訳



③ 在宅復帰率と平均在院日数 (日)



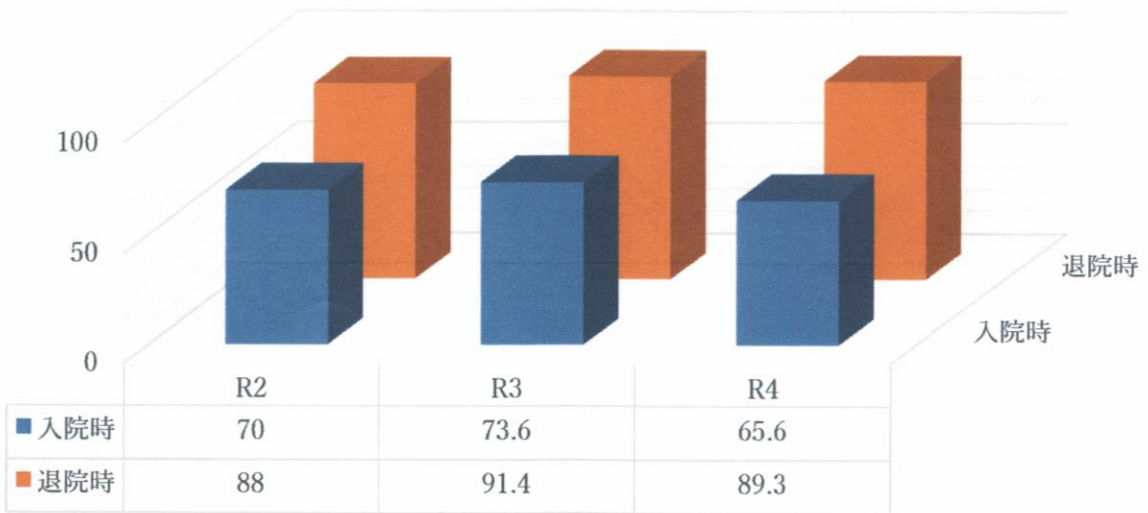
④ 退院先



⑤ リハビリ実績

患者様の日常生活動作がどの程度回復したかを評価するときに、当院ではFIM（フィルム）：Functional Independence Measure という評価方法を使用しています。FIMは計18の評価項目で構成されており、食事や更衣、トイレ動作、整容等のセルフケア（日常生活動作）、車椅子やベッド、浴槽などの乗り移り動作、歩行・階段昇降などの移動能力、またはコミュニケーションや社会交流などの認知面の項目もあります。各々の項目は1点から7点の7段階で採点します。総合計は126点で、点数が高いほど日常生活動作の自立度が高いことを意味します。利得効果とは点数が高いほど、短期間でリハビリケアに高い効果が得られたことを意味します。

入院時・退院時FIM



FIM利得効果

